

DigicaEX 給紙不良要因の例

以下、給紙不良の原因になっているよくある事例についてとなります。

□用紙セット時の注意点

左右用紙ガイドについて



左右の用紙押さえガイドを用紙にピッタリと付くように挟んでください。用紙と用紙押さえガイドに大きな隙間が出来てしまうと印字斜行を起し用紙が引っかかったの給紙不良の原因になります。

※用紙先端の突き当てで位置を合わせずに、必ず左右の用紙押さえガイドで位置を合わせて下さい。



左右の用紙押さえガイドを用紙にピッタリと付くように挟みますが、強く挟みすぎて用紙がたわんだり、給紙されないような場合が若干押さえの力を抜くようにして下さい。

その際に用紙と用紙押さえガイドに隙間が出来過ぎないように注意して下さい。

前ページからの続き

用紙の反りに注意！



反りのある用紙
※極端な例



反りのない用紙

左図のように用紙によっては反りがどうしても出てしまうものがありますが、反りがある事によって、用紙ガイド等への引っ掛かりや隙間が出来る恐れがあり、給紙不良の原因となります。左右/前後の反りを確認し、反りがあるようでしたら極力反りがなくなるよう手で修正した用紙をセットします。

種類の違う用紙を重ねてセットしない (用紙横幅に微妙なバラつきが出る)



横幅に微妙なバラつきが出る

種類の違う用紙を重ねてセットしたり、その他の要因にて用紙の横幅に微妙なバラつき（コンマ数ミリ程度）がある場合、左右の用紙ガイドと給紙される用紙との間に隙間が出来やすく給紙不良や斜行の原因になります。同じ種類の用紙で左右をそろえた時に横幅に微妙なバラつきがない事をご確認下さい。

前ページからの続き

□その他の注意点

□用紙による違い：

給紙の良い用紙と良くない用紙があるかご確認ください。「給紙の良い用紙があり、違う用紙では給紙不良が出る」というような場合は用紙と機械の相性の可能性があります。

□両面印刷時は注意：

印刷された面を裏返して両面印刷する事となりますが、レイアウトによってはローラと印字部分のすべり具合やローラのインク汚れによるすべりで給紙不良が発生する場合があります。その場合はローラをまめに清掃する事によって給紙不良を回避できる場合もあります。

□ローラ清掃の必要性：

用紙の紙粉、予め印刷機でロゴ等を印刷してある場合などのパウダー(粉)などがローラに溜まると給紙不良の原因になります。ローラ清掃はこまめに行ってください。

※ローラの清掃方法は、本体に付属の「プリンタユーザーズガイド」をご参照下さい。

※本資料はよくある一事例となります。

プリンタをご使用いただく際のご参考としてご利用下さい。